

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

沖縄県伊平屋島

増産プロジェクトにおける令和4年産生産計画の達成状況及び今後の取組状況

生産計画の
達成状況等

1 令和4年産の生産実績

	収穫面積 (ha)				単収 (kg/10a)				生産量 (t)			
	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計
H27年産実績	46	11	64	120	4,610	2,424	3,104	3,621	2,130	260	1,971	4,361
H28年産実績	46	15	70	131	6,417	4,105	3,464	4,576	2,965	602	2,437	6,003
H29年産実績	41	25	90	157	4,771	2,604	3,037	3,423	1,966	656	2,745	5,367
H30年産実績	37	18	113	168	4,295	2,677	3,599	3,654	1,581	476	4,079	6,136
R元年産実績	26	12	95	133	4,685	3,284	2,751	3,183	1,239	391	2,606	4,236
R2年産実績	43	24	94	160	4,300	2,081	3,147	3,296	1,839	495	2,954	5,289
R3年産実績	31	15	95	141	3,946	2,974	2,744	3,031	1,217	444	2,620	4,282
R4年増産計画	41	13	89	143	4,800	3,300	3,236	3,690	1,968	429	2,880	5,277
R4年増産実績	44	3	92	139	4,901	3,392	3,199	3,743	2,156	90	2,957	5,203
(対計画比%)	(107.3)	(23.1)	(103.4)	(97.2)	(102.1)	(102.8)	(98.9)	(101.4)	(109.6)	(21.0)	(102.7)	(98.6)
(対前年比%)	(142.6)	(20.1)	(96.3)	(98.4)	(124.2)	(114.1)	(116.6)	(123.5)	(177.1)	(20.3)	(112.9)	(121.5)

2 その他指標の動向 令和3年産→令和4年産

・株出栽培の割合	67.6%	→	66.2%	・さとうきび作農家戸数	50戸	→	47戸
・平均糖度	15.5度	→	15.1度				

増産目標に対する位置づけ	<p>令和4年産 生産計画及び実績については、以下のとおりであった</p> <table border="1" data-bbox="526 215 1153 319"> <thead> <tr> <th></th> <th>収穫面積</th> <th>単収</th> <th>生産量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(計画)</td> <td>143ha</td> <td>3,690kg/10a</td> <td>5,277t</td> </tr> <tr> <td>(実績)</td> <td>139ha</td> <td>3,743kg/10a</td> <td>5,203t</td> </tr> </tbody> </table> <p>伊平屋村における令和4年産の当初の増産目標は、収穫面積151ha、単収3.5t、生産量5,043tを計画していた。7月に干ばつ傾向にあったが、関係機関でかん水実施を支援し、被害を軽減することができたことや、台風被害も小さかったことから単収が増加し、生産量5,203t(対計画比103%)の実績となり計画を達成した。引き続きさとうきびの増産を図るため、生産者および関係機関が一体となった生産体制の整備を図るとともに、連携を強化することで目標達成に向けた取り組みを推進する。</p>		収穫面積	単収	生産量	(計画)	143ha	3,690kg/10a	5,277t	(実績)	139ha	3,743kg/10a	5,203t
	収穫面積	単収	生産量										
(計画)	143ha	3,690kg/10a	5,277t										
(実績)	139ha	3,743kg/10a	5,203t										
課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 担い手不足解消の為、認定農業者の増加 ② 管理作業による受託組織整備の取組を推進 ③ 地力増進 												
令和5年産における取組方針	<p>主なさとうきび生産振興策として</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 認定農業者の育成を図る ② 受託組織(農業生産法人等)の育成を図る ③ 良質な表土の提供体制構築(村内に表土保管場所の設置等)及び村堆肥センターの堆肥利用を推奨する等の継続的な土づくり支援を行う 												

(1) 経営基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																												
①効率的な さとうきび経営 の育成と労働 力の確保	【実施した取組】 ・農業経営改善計画等の作成を支援し、新規認定農業者を育成した	・認定農業者及び農業法人等の中核的な 担い手の育成を図る ・作業受託組織の育成を図る																																																												
	【目標の達成状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定農業者</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>農業法人</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>			H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	認定農業者	2	-	1	5	5	6	6	6	農業法人	-	-	-	-	1	1	3	3																																	
	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4																																																						
認定農業者	2	-	1	5	5	6	6	6																																																						
農業法人	-	-	-	-	1	1	3	3																																																						
②農業共済制 度への加入 促進	【実施した取組】 ・連絡員講習会を開催し、制度の周知を図った ・危険段階別共済掛金率を導入し畑作共済の加入を図った	・共済制度の周知等、加入促進を図る ・収入保険制度の周知に努める																																																												
	【目標の達成状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26 (27年産)</th> <th>H27 (28年産)</th> <th>H28 (29年産)</th> <th>H29 (30年産)</th> <th>H30 (R元年産)</th> <th>R元 (R2年産)</th> <th>R2 (R3年産)</th> <th>R3 (R4年産)</th> <th>R4 (R5年産)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加入戸数 (戸)</td> <td>39</td> <td>38</td> <td>38</td> <td>37</td> <td>31</td> <td>24</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>戸数引受率 (%)</td> <td>76.5</td> <td>74.5</td> <td>74.5</td> <td>67.3</td> <td>59.6</td> <td>48.0</td> <td>40.4</td> <td>38.8</td> <td>38.3</td> </tr> <tr> <td>引受面積 (ha)</td> <td>111</td> <td>102</td> <td>128</td> <td>132</td> <td>89</td> <td>77</td> <td>64</td> <td>80</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>面積引受率 (%)</td> <td>92.0</td> <td>78.0</td> <td>81.3</td> <td>78.6</td> <td>67.1</td> <td>48.1</td> <td>44.9</td> <td>51.6</td> <td>50.4</td> </tr> <tr> <td>共済金額 (千円)</td> <td>58,598</td> <td>47,631</td> <td>55,055</td> <td>65,808</td> <td>50,923</td> <td>53,878</td> <td>44,755</td> <td>37,218</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			H26 (27年産)	H27 (28年産)	H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	加入戸数 (戸)	39	38	38	37	31	24	19	19	18	戸数引受率 (%)	76.5	74.5	74.5	67.3	59.6	48.0	40.4	38.8	38.3	引受面積 (ha)	111	102	128	132	89	77	64	80	71	面積引受率 (%)	92.0	78.0	81.3	78.6	67.1	48.1	44.9	51.6	50.4	共済金額 (千円)	58,598	47,631	55,055	65,808	50,923	53,878	44,755	37,218	-
			H26 (27年産)	H27 (28年産)	H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)																																																			
	加入戸数 (戸)		39	38	38	37	31	24	19	19	18																																																			
	戸数引受率 (%)		76.5	74.5	74.5	67.3	59.6	48.0	40.4	38.8	38.3																																																			
	引受面積 (ha)		111	102	128	132	89	77	64	80	71																																																			
	面積引受率 (%)		92.0	78.0	81.3	78.6	67.1	48.1	44.9	51.6	50.4																																																			
共済金額 (千円)	58,598	47,631	55,055	65,808	50,923	53,878	44,755	37,218	-																																																					
【課題】 ・小規模生産農家の加入率が低い ・共済制度への理解度が低い	注) R4、R5年産の数値については概算値																																																													

(2)生産基盤の強化

項目	取組実績及び課題									今後の取組方向
①気象災害に強い生産基盤の整備	【実施した取組】									<ul style="list-style-type: none"> ・かんがい施設を利用した水資源の早期供給を図る ・ほ場の勾配修正やほ場周囲にグリーンベルト等の設置を行う
	<ul style="list-style-type: none"> ・防風・防潮林の整備 ・かんがい施設の整備 ・かん水推進および支援 									
	【目標の達成状況】 (単位:%)									
		H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 見込	
	ほ場整備率	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	95.4	
水源整備率	91.3	91.3	91.3	91.3	91.3	91.3	91.3	95.6		
畑地かんがい整備率	76.5	76.5	83.3	84.7	84.7	84.7	84.7	88.7		
②機械化一貫体系の確立	【実施した取組】									<ul style="list-style-type: none"> ・オペレーターの技術向上・育成のために研修等への参加を推進する ・株出管理作業等の受委託体制を整備する ・既存機械の機能向上、長寿命化の取組みや機械の新規導入を支援する
	<ul style="list-style-type: none"> ・ビレットプランタによる植付の実施を推進 									
	【目標の達成状況】 (単位:台、ha、%)									
		H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	
	ハーベスタ 稼働台数	6	5	5	5	5	5	5	4	
ハーベスタ 収穫面積	120	131	157	168	133	160	141	139		
ハーベスタ 収穫率(面積)	99.9	99.8	99.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
②機械化一貫体系の確立	【課題】									
	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレーターの育成と確保 ・オペレーターの技術向上 ・ハーベスター等の機械の老朽化 									

<p>③地力の増進</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機質資材の投入を支援した ・土壌分析の実施を支援した <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土づくりに対する意識の向上 ・地力の向上 ・堆肥散布能力の向上および散布体系の効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ・良質な表土の提供体制構築(村内に表土保管場所の設置等)及び村堆肥センターの堆肥利用を推奨する等の継続的な土づくり支援を行う ・村堆肥センターの堆肥利用を推奨する ・堆肥散布機等の導入を検討し、効率的な散布体系の構築を図る
---------------	---	---

(3) 技術対策

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																						
①病害虫対策	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助事業を活用し、害虫の適期防除および一斉防除のための農薬費を助成した 交信かく乱法によるイネヨトウ防除を実施した 害虫防除に関する講習会を開催した <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> メイチュウ類による被害 	<ul style="list-style-type: none"> 早期防除対策を推進する 効果的な防除対策の周知を図る 交信かく乱法によるイネヨトウ防除を継続する 																																																						
②優良品種の選択・普及	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原種ほを設置し、無病健全苗の供給と普及に努めた(優良種苗安定確保事業) <p>【目標の達成状況】 (単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="488 687 1406 930"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27 (実績)</th> <th>H28 (実績)</th> <th>H29 (実績)</th> <th>H30 (実績)</th> <th>R元 (実績)</th> <th>R2 (実績)</th> <th>R3 (実績)</th> <th>R4 (実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農林15号</td> <td>20.0</td> <td>16.8</td> <td>13.4</td> <td>8.3</td> <td>9.0</td> <td>7.5</td> <td>11.3</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>農林17号</td> <td>30.8</td> <td>22.1</td> <td>16.6</td> <td>16.1</td> <td>14.3</td> <td>10.0</td> <td>14.9</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>農林20号</td> <td>10.8</td> <td>6.1</td> <td>5.1</td> <td>4.2</td> <td>3.8</td> <td>3.8</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>農林22号</td> <td>12.5</td> <td>13.0</td> <td>12.1</td> <td>8.9</td> <td>6.8</td> <td>9.4</td> <td>10.6</td> <td>12.2</td> </tr> <tr> <td>農林27号</td> <td>0.2</td> <td>8.4</td> <td>9.6</td> <td>9.5</td> <td>11.3</td> <td>7.5</td> <td>31.7</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊平屋村に適した品種の選定 健全無病苗の利用に対する生産農家への啓発を強化 採種ほ設置の取組みを推進する 		H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	農林15号	20.0	16.8	13.4	8.3	9.0	7.5	11.3	11.5	農林17号	30.8	22.1	16.6	16.1	14.3	10.0	14.9	11.5	農林20号	10.8	6.1	5.1	4.2	3.8	3.8	2.1	3.6	農林22号	12.5	13.0	12.1	8.9	6.8	9.4	10.6	12.2	農林27号	0.2	8.4	9.6	9.5	11.3	7.5	31.7	-	<ul style="list-style-type: none"> 健全無病苗の利用推進 黒糖向け品種、台風及び干ばつ等に抵抗性のある品種の選定・普及を図る 採種ほ設置の取組みを推進する
	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)																																																
農林15号	20.0	16.8	13.4	8.3	9.0	7.5	11.3	11.5																																																
農林17号	30.8	22.1	16.6	16.1	14.3	10.0	14.9	11.5																																																
農林20号	10.8	6.1	5.1	4.2	3.8	3.8	2.1	3.6																																																
農林22号	12.5	13.0	12.1	8.9	6.8	9.4	10.6	12.2																																																
農林27号	0.2	8.4	9.6	9.5	11.3	7.5	31.7	-																																																
③栽培技術の普及等	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雑草防除および栽培管理に関する講習会を開催した <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏植等の管理作業の遅れが見られ、単収の低下を招いている 排水不良の影響による発芽不良や生育不良 管理作業の省力化 	<ul style="list-style-type: none"> 適期管理作業を推進する 心土破碎による土壌物理性の改善 適期管理作業を推進する 																																																						